これまでにいただいたご意見・ご質問とそれに対する教育委員会の考え方

【旭・太田校区】(R3 4/19更新分)

Q1 今回の計画案で通学区域の見直し対象となっている地域は、旭・太田校区のコミュニティに関わりが深く、通学環境も問題ない。見直す必要がないのでは。

A 今回の適正規模・適正配置の取組は、子どもたちが将来にわたってより良い教育環境の下で、充実した学校教育を受けることができるようにするためのものであり、子どもたちの教育を最優先にした取組です。

現在の旭・太田小学校や土生中学校、葛城中学校区の学校規模や、通学距離、配置バランス等を踏まえた上で、総合的な判断の下、今回の計画案をお示ししています。

通学区域の見直し対象となっている旭・太田校区の地域の皆様には、これまでの教育環境が変わることになりますが、通学の安全対策など、地域の皆様が不安に思われる点については、十分にご意見をお伺いしながら取組を進めてまいります。

これまでにいただいたご意見・ご質問とそれに対する教育委員会の考え方

【旭・太田校区】(R3 4/19更新分)

Q2 調整区域という形を取り、通学する学校を選択できるようにすべき。

A 現在の旭・太田小学校や土生中学校、葛城中学校区の学校規模や、通学距離、配置バランス等を総合的に判断した上で、今回の計画案をお示ししており、教育委員会としては、現在は旭・太田小学校区の神須屋町等の本来通学校を(仮称)葛城小中一貫校に見直しする形がより望ましいものと考えています。

なお、地域・保護者の皆様と十分に協議する中で、計画の決定にあたって、調整区域が必要とのご意見であれば、教育委員会としてその導入を検討していきます。

これまでにいただいたご意見・ご質問とそれに対する教育委員会の考え方

【旭・太田校区】(R3 4/19更新分)

Q3 既に旭・太田小学校、土生中学校に通っている子どもたちは、通学区域が変更されたとしても卒業まで今の学校に通えるのか。

A 市内のどの学校も一定の集団規模が確保され、バランスの取れた学校配置を実現するという観点からは、新たな学校が開校する時期に合わせて一斉に通学区域の見直しを行うことが望ましいと考えますが、通学区域の見直しを行う地域については、例えば6年生の児童は、残り1年を、今までの学校に通って同じ友達と卒業したいなどと希望されることもあると想定されます。

そのようなご意見があれば、経過措置として、在校生については従来校と新たな学校との選択を可能とするといった対応がとれるよう、調整を進めていきます。

これまでにいただいたご意見・ご質問とそれに対する教育委員会の考え方

【旭・太田校区】(R3 5/10更新分)

Q4 Q3の回答で、在校生については従来校と新たな学校との選択を可能とするといった対応がとれるよう、調整を進めていくとあるが、小学校卒業後は、中学校の選択も可能となるのか。中1ギャップの課題を踏まえると、中学校から新しい学校に通うのは厳しいのではないか。

A 新たな学校が開校するときに、既に旭・太田小学校に在籍している児童の対応については、中学校の選択も可能とするかも含めて、地域・保護者の皆様のご意見を踏まえた上で、決定していきます。

これまでにいただいたご意見・ご質問とそれに対する教育委員会の考え方

【旭・太田校区】(R3 5/10更新分)

Q5 今回の計画案では、子どもが中学3年生の時に学校が変わることになる。新たな学校で、これまで所属していた部活動がない場合も考えられるし、仮にあったとしても新メンバーで最後の試合に100%の力で取り組めるのか不安。入学した中学校で卒業させてあげることができるよう検討をお願いします。

A Q3で回答させていただいたとおり、新たな学校が開校するときに、既に、土生中学校に在籍している生徒につきましては、地域・保護者の皆様のご意見を踏まえた上で、学校を選択できる対応が取れるよう、調整を進めていきます。

なお、新たな学校が開校する時期については、「(仮称)学校開校準備委員会」を設置してから5年程度とお示ししていますが、具体的な開校年度については現段階で未定です。